

地域公共交通確保維持改善事業の評価について

1 概要

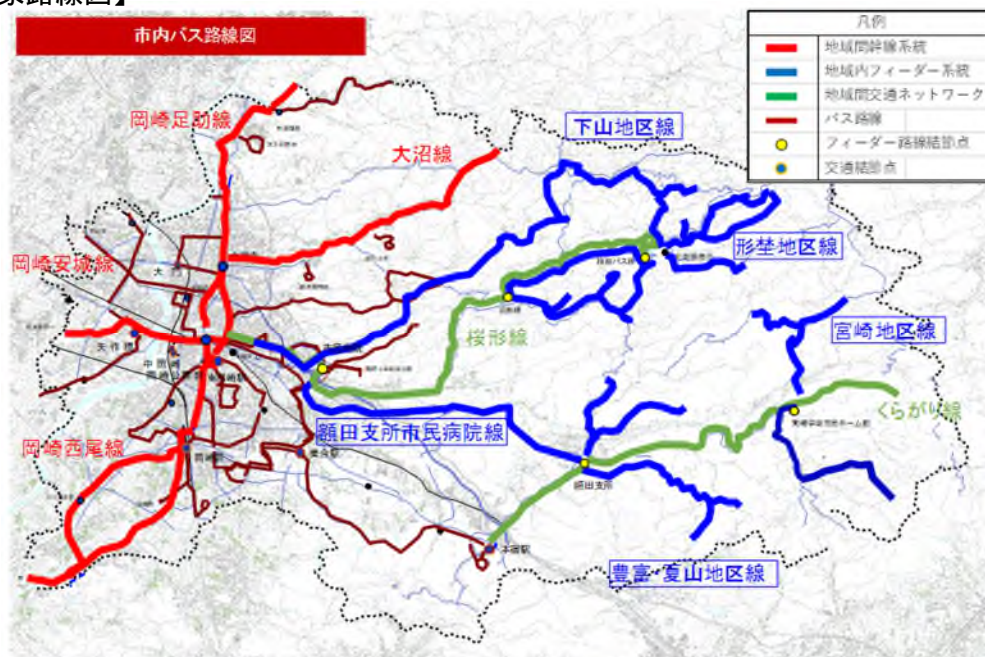
- 「地域公共交通確保維持改善事業」の「実施状況の確認」と「評価」は、毎年度、協議会が行う。
- 評価結果は、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに地方運輸局等に報告し、公表する。
- 本市では、岡崎市地域公共交通会議において「地域内フィーダー系統確保維持事業」の自己評価を行い、1月末までに、中部運輸局に報告し、公表する。

2 本市の補助対象事業及び補助対象路線について

地域公共交通確保維持事業の区分	補助対象事業	補助対象路線	地域公共交通計画の策定主体
地域間幹線系統確保維持事業	地域をまたがる幹線バス交通ネットワークの確保維持事業	大沼線、岡崎西尾線、岡崎足助線、岡崎安城線	愛知県 (愛知県公共交通協議会にて協議)
地域内フィーダー系統確保維持事業	山村振興法に基づき指定された振興山村（額田地域全域）を沿線に含む地域間交通ネットワークと接続する地域内交通の確保維持事業	額田支所市民病院線、下山地区線、形埜地区線、宮崎地区線、豊富・夏山地区線	岡崎市 (岡崎市地域公共交通会議にて協議)

※地域幹線系統確保維持事業については、愛知県公共交通協議会にて評価を実施

【対象路線図】



3 令和7年度 地域内フィーダー系統確保維持事業の流れについて

	内容	日程
①	令和6年第1回岡崎市地域公共交通会議にて計画協議	R6.5.20
②	運輸局より計画認定	R6.9.27
③	令和6年度計画に基づく事業の実施	R6.10~R7.9
④	岡崎市地域公共交通会議にて自己評価（一次評価）	本日
⑤	国による第三者評価委員会の実施（二次評価）	R8.2 予定

4 令和7年度 地域内フィーダー系統確保維持事業の評価について

1 評価目的

「事業の実施状況の確認」「目標達成状況」等の評価を行うことによって、より効果的、効率的に運行されることを目的とする。

2 目標の達成状況と考察（詳細は資料2-3のとおり）

○目標の達成状況

路線名	年間利用者数（実数値・（目標値））	利用率（実数値・（目標値））	達成状況
額田支所市民病院線	【未達成】5,363人（6,078人）	【未達成】0.14%（0.16%）	B
下山地区線	【達成】4,279人（3,249人）	【達成】2.33%（1.67%）	A
形埜地区線	【未達成】90人（242人）	【未達成】0.16%（0.38%）	B
宮崎地区線	【未達成】168人（229人）	【未達成】0.52%（0.73%）	B
豊富・夏山地区線	【未達成】209人（229人）	【未達成】0.14%（0.17%）	B

利用率＝日利用者数（※）／沿線人口×100 ※日利用者数＝年間利用者数／年間運行日数

路線名	日利用者数（人）	沿線人口（人）	年間運行日数（日）
額田支所市民病院	14.7	10,877	365
下山地区線	17.6	756	243
形埜地区線	1.9	1,144	48
宮崎地区線	3.3	637	51
豊富・夏山地区線	4.1	2,835	51

○評価基準について

	A	B	C
目標・効果達成状況	目標が達成された場合	目標は未達成だが、地域で路線維持等に努める動きが見られた場合	左記以外

○考察

（A評価路線）

・地域が中心となり利用促進に取り組んだ結果、特認校制度による小学生や、高校生の定期的な利用により目標が達成された。

（B評価路線）

・定期的に利用していた高齢者が外出できなくなる一方で、高齢者世代が免許を保有し運転し続けることによりバスの利用者数が減少していると考えられる。目標は未達成だが、地域の移動ニーズに合った交通手段を検討するワークショップを愛知県主導で実施したところ、各地域の代表者が参加し地域の移動課題やニーズなどから現時点における適正な運行方法を検討するなど、地域が主体となり路線維持に努める動きが見られるためB評価とした。

○事業の今後の改善点

（A評価路線）

・引き続き利用促進に努める。

（B評価路線）

・ワークショップの結果を踏まえ、移動ニーズをより反映した交通になるように事業者及び地域と検討をしていく。